

平成 21 年 11 月の解説（府県天気予報）

【11月の天候状況】

上旬は1日に前線をともなった低気圧が北日本を東北東進し、ほぼ全国的に雨となりました。その後強い寒気が流入したため、旬前半は各地とも低温となりましたが、後半は全国的に高気圧に覆われ晴れの暖かい日が続きました。10日は低気圧の接近により西日本を中心に雨が降り、とくに11日にはこの低気圧が西日本から東日本を通過して全国的に雨となり、西日本では記録的な大雨となった所がありました。その後も中旬には低気圧が次々と日本付近を通過したため、全国的に雨の日が多くなりました。下旬は本州付近を低気圧と高気圧がほぼ1日おきに通過し、北日本から西日本にかけては天気が短い周期で変化しました。南西諸島では前線などの影響で曇りや雨の日が多くなりました。

月を通しての日照時間は全国的に少なく、とくに北日本ではかなり少くなりました。降水量は全国的に多くなりました。とくに西日本ではかなり多くなり、月降水量の多い記録を更新した気象官署がありました。気温は東北、関東・甲信、北陸地方と沖縄地方で高くなりました。

【11月の検証結果】

17時発表の天気予報で「降水の有無」の全国平均の適中率は明日予報が87%で例年（注）より3ポイント高く、明後日予報が84%で例年より3ポイント高くなりました。地方毎の適中率では、明日予報は東海、近畿、中国、四国地方で例年より6から8ポイント高くなりました。明後日予報は北海道、東海、近畿、四国、九州南部地方で例年より5から10ポイント高くなりました。明日の最高気温の予報誤差は例年に比べてほぼ全国的に0.2前後小さくなり、全国平均は0.2 小さい1.5 でした。また、最低気温の予報誤差は、北陸と沖縄地方で例年より0.4 小さくなった他はほぼ半分の地方が例年並みとなり、全国平均は0.1 小さい1.5 でした。

（注）例年値は気象庁HP（予報精度検証）内「月毎の精度の例年値」を参照してください。

【11月の天気予報から】

2009年の11月は日本付近を低気圧が次々と通過し、全国的に降水量が多い月となりました。東京大手町でも1ヶ月の降水量が151.5ミリと平年（92.5ミリ）の約1.6倍もの降水量を観測しました。今回は30日の降水の予報を紹介します。

図1は29日正午の地上天気図です。日本付近に前線は描かれていませんが、等圧線がくぼんでいる所があり、弱い気圧の谷（橙色

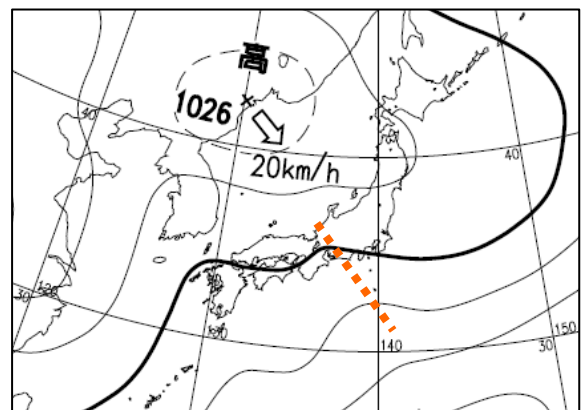


図1 29日正午の地上天気図

の点線)があることがわかります。この弱い気圧の谷がこのあと29日の夜から30日の朝にかけて関東地方を通過する予想で、東京地方でもこの影響による降水があると予想しましたが、この降水が30日のいつ頃止むかの判断が29日17時発表の予報のポイントの一つになりました。

29日の予報作業で用いた数値予報の資料では、30日の明け方には雨があがるとの予想でした。しかし、予報官は明け方の段階では上空の風向が南寄りであり、気圧の谷がまだ関東地方を抜けていないと予想したこと、予報する時点での雨域の実況などから明け方以降も降水があると考え、29日の17時予報では数値予報の予測資料より雨のあがりを遅らせて「雨昼前から曇りのち晴れ」と発表しました。図2は30日午前6時30分から7時30分にかけての東京地方付近のレーダーの画像です。レーダー画像では、雨雲は午前6時30分には23区を中心にかかっていますが、7時30分には東京地方をほぼ抜けました。東京大手町では午前7時までの1時間に2.5mmの降水量を観測し、午前7時25分に雨は止まりました。結果として、数値予報の資料で予想された時刻より遅く、朝の時間帯まで雨が残りました。

近年、数値予報の精度は向上しましたが、雨域の広がりや移動などはまだ十分に予測できないこともあります。今回は、明け方以降も南から湿った空気が流れ込むという数値予報の予想を予報官が適切に分析し、実況の経過なども加味しながら雨の上がる時間を数値予報の予想よりも遅らせたため、朝の通勤時間帯にも雨が残るという的確な予報を発表することが出来た事例です。

これからも適切な予報の発表に努めてまいります。

【1月の天気予報の利用にあたって】

1月は日本海側の地方で雪や雨が降り、太平洋側の地方で晴れる冬型の気圧配置となることが多くなりますが、前線や低気圧が日本の南岸を通過する場合などには太平洋側の地方でも雨や雪が降ります。太平洋側の地方など雪が降ることが少ない地方では、数センチの積雪でも歩行者の転倒や車のスリップ事故等が多発します。また例年積雪の多い地方でも、大雪が続く場合には通常の雪への対策では間に合わないこともあります。地元の気象台が発表する雪に関する気象情報や大雪注意報・警報などを雪への対策に活用してください。

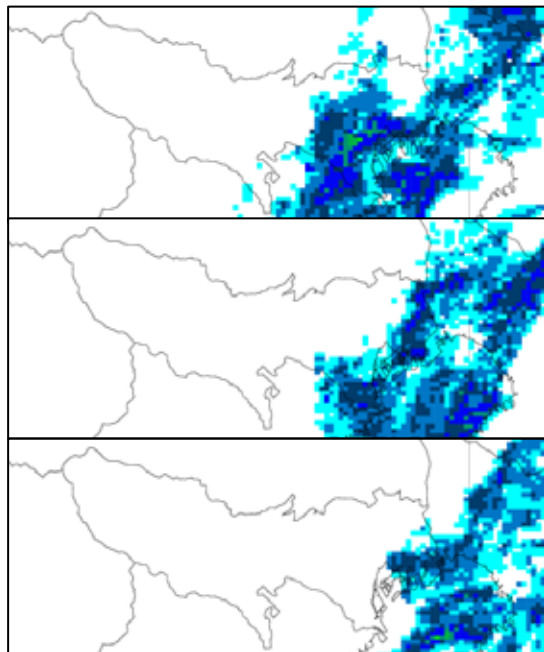


図2 上から30日午前6時30分、7時、7時30分の東京地方付近のレーダー画像